

競技・審判上の注意

① マッチ及びインターバル（試合の進行状況によっては、変更する場合があります。）

■本戦

15点3ゲームマッチとします。延長なし15点打ち切りです。ファイナルゲームは、8点でチェンジエンスです。

- i) 各ゲーム、どちらか一方が8点に達したら、60秒を超えないインターバルを取ることができます。
- ii) ゲームとゲームの間は1分間のインターバルを設けます。
- iii) サイドコーチのアドバイスは、ゲームとゲームの間のインターバル、もしくは水分補給のときのみ認めます。

準々決勝より正式ポイント（21点3ゲームマッチ、延長30点まで）で行います。ただし、Cクラスについては、15点3ゲームマッチ（延長21点まで）とします。

■交流戦

全クラス、15点3ゲームマッチとします。延長なし15点打ち切りです。

② 交流戦

交流戦は、初戦で負けた選手を対象として実施します。例えば、1回戦が不戦勝で、2回戦で負けた場合も対象となります。希望者は、敗者審判終了後に、サブアリーナ出入口付近にある、「交流戦受付名簿」に記名をして、呼び出しを待ち下さい。交流戦を始めるときは、館内放送やLINEオープンチャットでクラスごとに呼び出しますので、会場を離れて待機して頂いても結構です。

本戦の進行状況を見ながら、交流戦を入れていきます。開始はおおむね12時前後になる予定です。

③ 審判 ※詳しくは『（別紙）審判について』をご参照ください。

各コート第一試合については、対戦チームの関係者で審判（主審・線審・得点板）をお願い致します。両チームあわせて最低3名必要となります。人員不足の場合は、本部までお申し出下さい。なお、第一試合が棄権により行われない場合は、タイムテーブル2巡目の試合が第一試合となることもあります。予めご承知おき下さい。

■本戦

勝者→次の試合の線審

敗者→次の試合の主審+線審+得点板（線審と兼ねても構いません）

※選手が3年生以下の場合は、父兄やチーム関係者、4年生以上の選手が代わりに担当して下さい。

■交流戦

対戦チームの相互審判とします。主審、線審2ヶ所、得点板を対戦チームで分担して行って下さい。なお、線審は、主審や得点板と兼ねていただいても構いません。

※交流戦の審判については、学年を問いません。

④ 進行

招集コールから15分経過しても集合場所に現れなかった場合は、棄権とみなします。館内放送やLINEオープンチャットで進行状況を把握するようにして下さい。

タイムテーブルの2巡目以降は、流し込みで行います。

本部（メインアリーナ）に「選手集合場所」を設けます。試合番号をコールされたら、そちらにお集まり下さい。招集係に名前を告げて、チェックを受けてから指示された席に座って待機して下さい。

試合の順番がきたら、審判用紙を選手に渡しますので、対戦相手と共に指定されたコートまで移動し、審判用紙を主審に渡して、試合を始めてください。

初戦に限り、試合前に2分間の練習時間を設けます。主審の指示に従い、対戦者同士で練習をして下さい。シャトルについては、選手が用意して下さい。（対戦者との打ち合い練習が技術的に難しい場合は、チーム関係者との練習を認めます

が、対戦相手に練習相手がいない場合は、対戦者同士で練習して下さい。)

感染予防対策として、試合開始時と終了時の握手は省略しても構いませんが、勝者サインは選手が自ら行って下さい。勝者サイン後の審判用紙は、主審が本部（メインアリーナ）まで持って来て下さい。

進行状況によって連続して試合を行う場合、原則として試合終了後 10 分以上の間隔を置き、次の試合を行います。

※「選手集合場所」付近はスペースも狭く、大変混み合いますので、招集には、なるべく選手のみでお越し下さい。

⑤ 表彰

各クラスの準決勝及び決勝終了後に随時行います。閉会式は行いません。優勝・準優勝・第 3 位までは賞状と賞品、メダルを授与します。（3 位決定戦は行いません。）

⑥ その他

- ・ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは、認めません。もし、判定に対して疑問のある場合には、「質問」をすることができます。ここで質問のできる者とは、当該選手に限ります。コーチや監督が審判に対して、高圧的な態度をとることは厳に慎んでください。
- ・ コーチ席は、各エンドラインに 1 席ずつ設けます。
- ・ タオルや飲み物ボトルを床に直接置かないようにして下さい。コートサイドに各自バッグなどを持参して、それに入れて下さい。
- ・ 第 4 回 Tochigi ちびっこオープンにおけるケガなどを保障する団体傷害保険に加入しております。大会中にケガをした場合は、お申し出下さい。

以上